

第5回

**北陸の温泉旅館における
ヒートポンプ導入によるCO2削減事例
～株式会社ふくみつ華山温泉～**

今回のコラムでは北陸富山にあります温泉旅館「ふくみつ華山温泉」でのJ-クレジット制度への取り組み事例をご紹介します。J-クレジットを創出する「売る側」の立場である事業者が、どんなきっかけや手続きで取り組んだのか。女将のインタビュー内容とともに、取り組みのポイントをご紹介します。

■企業の概要

社名:株式会社ふくみつ華山温泉

<http://www.hanayama-onsen.com/index.html>

所在地:富山県南砺市川西 588-1

ご担当:女将 東 祐子氏(※インタビューご対応者)

事業:宿泊業(温泉旅館 改装客室全17室)

特徴:北陸の海の幸を使った料理、北陸唯一の展望砂風呂
源泉かけ流しの温泉、和モダンな客室

■事業の概要

事業名:ふくみつ華山温泉におけるヒートポンプ導入によるCO2削減プロジェクト

概要:温泉旅館における給湯・加温の熱源設備を既存のA重油焚きボイラー(3台)から高効率ヒートポンプ(1台)に更新することで、化石燃料の使用量を低減し、CO2排出量の削減を行う。

削減量:20~30t-CO2/年

■女将のコメント(設備導入の背景)

温泉を加温するボイラーの重油コストに頭を悩ませていました。50度ほどの源泉を近くの場所から引いているのですが、運んでくる間に約30~35度ほどに冷めてしまうためボイラーで温めていました。北陸なので冬場は特に冷え、重油コストが夏場の約2.2倍にもなっていました。そのコスト削減のためヒートポンプ導入を検討しました。今回のヒートポンプ導入で2~3割のエネルギーコストの削減につながる試算です。

■女将のコメント(J-クレジット制度へのきっかけ)

J-クレジット制度のことは知っていたので、設備会社を経由して、そもそも制度を活用できるのか、その場合どういった手続きをするのかなどを確認してもらいました。その後、無料で申請できることが分かったので、ソフト支援事業者と協力して進めました。

■女将のコメント(今後への期待)

一番は、コスト削減という目的のためヒートポンプ導入を行いました。それがCO₂削減や、環境貢献、そして今回のJ-クレジット制度の利用にもつながりました。今後、旅館に対するイメージアップにも期待したいと思います。また、実際にクレジットとして認証されて販売されることも期待しています。

○申請するまでのポイント(ソフト支援機関)

制度利用に際して、設備会社と連携して進めることで、申請書類をスムーズに確認することができました。補助事業を活用してヒートポンプを導入されていたため、設備の仕様書やランニングコストに関する資料等も揃っていて、すぐに確認することができました。今後のモニタリングは、ヒートポンプの電力使用量データを専用パソコンから取っていただくという作業のため、旧来よりも女将の手間を減らしながら、エネルギーコストを管理していただけるかと思っています。

○クレジット販売のポイント(ソフト支援機関)

中部経済産業局では中部産のJ-クレジットを「中部産 CO₂ クレジット」として統一したブランドで販売しています。局のHPにあるプラットフォームに在庫量の一覧を掲載することで、購入したい方に自由に見てもらえるようになっていきます。ふくみつ華山温泉さまのクレジットもそうした場を活用しながら発信することで、販売の機会を増やしていきたいと思っています。

■事例紹介の動画のご紹介<ふくみつ華山温泉>

今回のコラムで紹介したふくみつ華山温泉は、事例紹介の動画が作成されており、J-クレジット制度 HP で公開されています。

旅館の雰囲気を楽しみながら、省エネ設備導入や制度利用について知ることができます。ぜひご覧ください。

* J-クレジット制度 HP

<http://japancredit.go.jp/menu04/document.html>